

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

「^{こゑ}聲なきに聞き 形無きにみる」

北薩教育事務所 所長 木之下 浩一

亥年。新たな年を迎え、平成31年の幕開けです。今年もよろしくお祈りします。

今年、天皇の退位が予定されており、4月30日までが平成である。5月1日には、皇太子が新天皇に即位され、新元号が始まる。したがって、平成と新元号が併存する記念すべき年でもある。この節目の年に自分は何を残せるか。少なくとも「負の遺産」だけは残さないように今年も飽くなき挑戦をしていきたい。

さて、鹿児島市の県警察本部庁舎の玄関側向かいに銅像があるのをご存知だろうか。これは、日本の近代警察を構築し、自ら警視庁初代大警視（現在の警視総監）となった、薩摩出身の川路利良の銅像（平成11年設置）である。この銅像の裏側には、「聲なきに聞き 形無きにみる」（警察官たるものは、声なき声聞き、表面的、外形的な現象のみにとらわれることなく、奥に隠されたモノを見逃すことなく、真実を追究することが必要である）という言葉が彫りこんでいる。この言葉は、『警察手眼』（警察の在り方を示した川路の語録を編纂したもの）の中にあり、現在も警察官の活動の指針となっている。

この言葉は、警察官のみならず、私たち教職員にも通じるものがある。子供たちや保護者、地域の方々と接する中で大事にしなければならない、そして心掛けなければならないことを含んだ奥深さを感じる。表面上のみをなぞり、形骸化させてしまったり、慎重かつ丁寧に検討が足りなかったために想定外の問題に発展させてしまったりということの多い昨今だからこそ、私たち教職員は、この言葉の意味を肝に命じておきたい。

ところで、この川路利良は、大河ドラマ「西郷どん」明治編の中で、ほぼ毎回、登場していた。1864年 禁門の変で長州の来島又兵衛を狙撃で倒し、戦功をあげ、西郷隆盛や大久保利通らから高評価を得て、特に西郷隆盛からは、かわいがられた。下野した西郷隆盛と共に行動するよう多くの薩摩出身者から誘われたが、大警視となり、国家の安定と治安維持を任務とする立場となってからは、「私情においては誠に忍びないことであるが、国家行政の活動は一日として休むことは許されない。大義（人が踏み行すべき大切な道義。特に国家に対して尽くすべき道）の前に私情を捨て、あくまで警察に献身する」と、信念を明白にし、きっぱりと断っている。そして、西南の役においては、西郷を追討する司令塔として大久保利通と共に行動した。このことにより、後に「あれだけ、西郷に大事にしてもらったにも関わらず、裏切った」、「郷土に刃を向けた」と薩摩では評された。これまで、警察関係者以外からは、鹿児島での知名度も高くはなく、評価は分かれるところであるが、少なくとも「私情を捨て、あくまでも職務（警察）に献身する」ところは、大いに学ぶべき資質である。「聲なきに聞き、形無きにみる」ことを日常の教育活動において、大切にしていきたい。

主体的・対話的で深い学び

〔さつま町立柏原小学校〕

本校では、自ら課題を見付け、考えを表現し合える力を育成するために、特に国語科の学習の中で、書く活動、主体的な話し合いの工夫に取り組んで、表現する力を付けています。

自分の考えを明確にするための書く活動



サイドラインを引き考える様子

自分の考えを明確にするため書く活動を取り入れています。サイドラインを引きながら、自分の考えの根拠となる言葉や文を挙げ、自分の言葉でその理由を付け加えて、書くようにしています。

サイドラインを引くことで、深く読んだり、考えたりしながら自分の意見を発表する児童が多くなってきました。

反応しながら聞く姿勢を大切にしながら、自分の考えと相手の考えを比べることで、相違点や共通点に気付くことができるようになり、話し合いに主体的に取り組めるようになってきました。

聞く姿勢を大切に、主体的に話し合うための活動



反応しながら話し合う様子

ペアやグループで話し合うとき、相手の意見に反応することを心掛けさせ、「うなずきながら」「つぶやきながら」聞くようにしています。また、「違い」「共通点」をキーワードに話し合いを進めています。

〈教育事務所から〉

全職員が一丸となって学習指導案検討を行ったり、共通実践事項を徹底したりして、子供たちの表現する力の育成を目指して、研究している学校です。



がんばれ出水！ がんばれ川薩！

第32回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

隼人・国分路で平成31年1月27日(日)に開催されます。厳しい選手選考会を経て選ばれた6人の選手が襷をつなぎます。昨年度は出水地区が4位でBクラス優勝、川薩地区が9位という成績でした。出水地区・川薩地区ともに昨年度より好成績を残せるよう練習に取り組んでいます。各地区の中・高校生や教職員も選手として出走します。選手や指導者への激励、声援をお願いします。



〔女子出水地区チーム〕



〔女子川薩地区チーム〕

第66回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競争大会



〔予選会の様子(川薩地区)〕

平成31年2月16日(土)から20日(水)までの5日間、全53区間で開催されます。昨年度は川薩地区が5位でBクラス優勝、出水地区が7位で躍進賞1位という結果でした。各チーム高校生を含む21人の選手が襷をつなぎます。襷に込められた熱い思いに応えようと全力で走る選手達にご声援よろしくお願いたします。

※ 17日(日)は南さつま市から出水市、18日(月)は出水市から霧島市までがコースとなっています。

新学習指導要領における特別支援教育の充実

新学習指導要領では、平成28年に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」等の法改正や制度改正、中央教育審議会「答申」を受け、**通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校において、全ての教員が子供たちの十分な学びを確保し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援の工夫を求めています。**具体的には、学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編「2 特別な配慮を必要とする児童(生徒)への指導」に、次の3点が重視されています。(小:P106～、中:P104～)

- **全ての教科等において、配慮が必要**となり、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導方法等の工夫を行うこと。
- **特別支援学級でも通級指導教室においても自立活動を行うこと。**
- **特別支援学級や通級による指導を受けている児童生徒について、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、効果的に活用すること。**

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」も併せてご覧ください。

冬季の健康管理について

保健所から出された2019年第1週の北薩感染症情報によると、**インフルエンザ流行発生注意報が2週連続継続中**で、インフルエンザ罹患者数も増加傾向にあります。**手洗いの励行、十分な睡眠、咳エチケット**など、早めの予防や対応を行い、蔓延をストップさせましょう。

参考までに、インフルエンザによる出席停止期間は「**発症したあと5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで**」です。

北薩地区子ども会大会

12月1日(土)長島町文化ホールで、子ども会会員と指導者育成者158人が参加し、地区子連表彰式、活動発表、創作活動、講演会を行い、充実した大会となりました。



創作活動では、長島町のジュニア・リーダーの指導で、与えられた遊びではなく、グループで遊び方やルールを考える活動を通して、遊びを創作する楽しさや喜びを味わうことができ、今後の子ども会活動の活性化につながるよい機会となりました。

交通事故防止について

今年度は、管内において交通事故(加害・被害・自損)が頻発しています。事故の多くは安全確認不足や油断した運転に起因するものであり、危険を予測しながら運転していれば防げたものばかりです。年末から年度末にかけて、交通事故や交通違反が多発する傾向にあります。運転する際には心にゆとりをもち、安全運転に心掛け、交通事故の防止に努めましょう。

交通事故等を防ぐために・・・

- 交通ルールを遵守し、安全運転に努めましょう。
- 車間距離は十分にとり、常に危険予測をしながら運転しましょう。
- 心や時間に余裕をもった運転に努めましょう。
- 交通事故を起こすことにより、公務員としての信用失墜につながることを常に意識しましょう。

良質な教育環境づくりへのアドバイス⑤

公立高等学校入学者選抜学力検査が、3月6日(水)、7日(木)に実施されます。キャリア教育による進路保障の視点から、生徒の志望校等に進学させることが大切となってきます。そのためにも児童生徒に確かな学力を付けるよう日々「分かる授業」に努めることが必要となってきます。

編集後記

梅の花が咲く季節になりました。梅は剪定が必要で、放っておいては、次の年に花や実が付きません。一方、桜の木は切ってしまうと切り口から腐ってしまいます。子供一人一人の特徴や性格を尊重し、個性を伸ばす教育を心掛けたいものです。